



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎ (095) 822-0680 FAX (095) 824-4623

「不離一体・中小企業経営に役立つ同友会活動の実践」 ～ 同友会活動が企業を支え、地域を育てる～

**第49回 中小企業問題
全国研究集会 in 長崎**

2019年
2月 / 21(木)・22(金)

1日目: 13時開会 分科会
2日目: 9時開会
長崎から伝える平和へのメッセージ 田上 富久氏
記念講演 高田 明氏

演題
「夢持ち続け日々精進」

株式会社 A and Live 代表取締役
たか た あきら
高田 明氏

長崎から伝える
平和へのメッセージ
た う え ど み ひ さ
長崎市長 **田上 富久氏**

時代の大転換期に立ち向かう覚悟と実践
「人を生かす経営」を広げ、地域再生を

スケジュール

◆ 1日目 2月21日(木)

12:00 受付開始

13:00 開会・分科会

会場

- ・ホテルニュー長崎
- ・サンプリエール
- ・ザ・ホテル長崎 BW
プレミアムコレクション
- ・ルークプラザホテル

19:00 懇親パーティー

会場

- ・ホテルニュー長崎

21:00 1日目終了

◆ 2日目 2月22日(金)

9:00 全体会・あいさつ

「長崎から伝える平和のメッセージ」

長崎市長 田上 富久氏 (30分)

「記念講演」

(株) A and Live

代表取締役 高田 明氏

- ・(株) V・ファーレン長崎 代表取締役社長
- ・(株) ジャパネットたかた 創業者

12:00 閉会

あと **154** 日!!

※ 9月20日現在

目次

第49回 中小企業問題全国研究集会 in 長崎 開催案内	1	事務局企業訪問	12
各界からの提言	2	新入会員紹介	13
2018 組織強化・会員増強全国交流会 参加報告	3	理事会報告	14
8月例会報告	4	会員動向・会員数	15
中同協 第50回 定時総会 in 宮城 参加報告	10	10月例会案内	15
What is 共同求人?	11	第25回 経営フォーラム in SASEBO 開催案内	16
会員活躍	11		

「地域の発展に貢献する 短期大学を目指して」

学校法人鶴鳴学園 長崎女子短期大学学長 玉島 健二



プロフィール

1954年10月佐賀県太良町に生まれる。長崎大学教育学部卒、1977年9月より長崎県立学校教諭として長崎北高校等に勤務。その後、県教育庁指導主事、野母崎高校教頭、県学事振興課参事、県児童生徒支援室長、西彼杵高校長、県高校教育課長、諫早高校・同附属中学校長。2015年4月より長崎女子短期大学入試広報室長、2016年4月より同学長。県少年保護育成審議会委員長、長崎同友会長崎出島支部会員。

長崎女子短期大学は、1966年に開学し、今年創立52年目を迎えています。1回目の東京オリンピックが終わった2年後に「社会の平和と幸福の増進に寄与する自立した女性の育成」を教育理念として創設され、1万1千名以上の卒業生を送り出してきました。現在、生活創造学科（栄養士コース及びビジネス・医療秘書コース）と幼児教育学科の2学科・2コース体制の収容定員400名の短期大学です。学生の96%が長崎県内の高等学校出身者で占められ、卒業後の就職先の93%が地元長崎県であり、主な職種は栄養士・一般事務・医療事務・保育士・幼稚園教諭等です。

さて、少子化や社会環境・進学意識の変化等により、短期大学の置かれた環境は、大きく変化しています。2017年度の短期大学数は337校、学生数は約12万4千人でした。これは、学校数では1996年度の56%、学生数は1993年度の約23%となっています。この数字が、短期大学の置かれた現状です。平成の一桁の時代は、第二次ベビーブーム世代が大学等に進学する時期と重なったこともあり、本学でも在籍学生数が700名台であった年もありましたが、現在はその半数

に止まっています。長崎県の人口減少、若者の都市部への流出は、なかなか歯止めがききませんが、このような時こそ、頑張り時だと思っています。

ところで、短期大学は、「地域に密着し、地域との関係性が強い、身近な高等教育機関」という自負があります。私自身も、「地域に愛され、地域に貢献できる短期大学」を目指し、日々運営に当たっていますが、実際に公開講座において本学の持つ知識・技術等を地域住民や県民の皆様還元したり、各種ボランティア活動に参加したりして地域貢献を行っています。今後は、公開講座の内容を精査し、例えば同友会会員企業の社員研修の一環として「ビジネスマナー研修」を開催したり、県産品を活用した料理レシピの開発研究を行ったりとできないか検討を進めたいと思います。同友会会員の皆様には、ビジネス・医療秘書コースのキャリアアップセミナー等で講師を務めていただき、模擬面接等で丁寧な指導をしていただいております。今後とも、同友会の皆様のご支援をいただきながら、地域に貢献できる短期大学づくりを進めて参りますので、ご指導・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2018 組織強化・会員増強全国交流会 参加報告

開催日時：8月24日(金) 13:00～17:30 会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

テーマ：実践報告① 長崎同友会の実践事例「純増1位長崎同友会佐世保支部の取り組み」

報告者：(株)野田武一商店 代表取締役 野田 洋市 氏

長崎同友会佐世保支部 仲間づくり副委員長(前仲間づくり委員長)

テーマ：実践報告② 「5万名達成を担う青年経営者と青年部活動」

報告者：(株)イベント21 代表取締役社長 中野 愛一郎 氏 中同協青年部連絡会 代表

テーマ：問題提起 「5万名会員達成にむけて」

報告者：加藤 明彦 氏 中同協副会長 愛知同友会会長

中小企業家同友会全国協議会(中同協)は来年、2019年設立50周年を迎えます。記念すべき50周年を会員数5万名にて迎えようと、全国から180名を超える会員参加のもと、開催されました。今回は長崎同友会・佐世保支部が昨年度支部別会員増強数全国1位となったことから、その取り組みを報告することとなり胸を張っての参加となりました。

報告者の佐世保支部・野田さんは全国から参加の代表理事、役員さんを前に落ち着いた雰囲気の中でゆっくりと、はっきりとした口調で報告され、長崎同友会の一員として誇りに感じ、勇気をいただきました。会員拡大のポイントは会員の皆さんご存知の様に、①目標を設定 ②委員会を開催する ③リストを作成 ④役割分担を決める ⑤訪問活動 ⑥例会、委員会への参加の促進 ⑦結果を含めた情報の共有 ⑧反省を含めた対策の検討 粘り強く活動することだと感じました。

その他にも「今でしょカード」の活用、携帯電話登録者の再検討。私になるほどと思ったのはリストをあげて訪問します、入会を断られた人をリストから削除しないで残しておく。それは数ヶ月後、数年後入会された会員がそのリストにある人と良い関係で有り入会に繋がる可能性が有る。改めて仲間づくりの奥深さを知りました。

当然ですが、佐世保支部と言えは会員の経営計画発表会、ビジュアルランチ等、会員のことを考慮した取



り組みが活発に開催されていることが会員拡大につながっていると確認できました。また、年間テーマとして「知る」を掲げられ ①現会員を知る ②新入会員を知る ③入会見込み者を知る 非常に明確なテーマで良いなと思いました。

二人目の報告者は中同協青年部連絡会代表の(株)イベント21 代表取締役社長 中野愛一郎さんでした。同友会入会12年で売上1億が16億に、社員数4名が170名に成長され同友会の学びの実践が必ず企業の成長に繋がる事を熱く報告されました。事業を伸ばす為に必要な三本柱「ビジネスモデル」「採用」「全社員一体化」 同友会を伸ばす為に必要な三本柱「学べる場を創る」「増」「強」と報告されました。自信あふれる報告に同友会の明るい未来を感じました。

(文責 代表理事 金井 政春)

今や国内を席卷する長崎の同友会から、なんと2名の報告者を招聘した全国交流会を一目、見ておきたいという思いで参加いたしました。数年前に純増率で長崎同友会は日本一を獲得したことがありますが、今回は支部の純増数です。

それは、どうやって達成出来たのかを全国の仲間たちが知りたいということで、①全国5万名会員達成にむけた契機とし、増やす力をつける同友会づくりを学びあう。②増える組織づくりを学び、各同友会が目標達成するよう経験を交流する。③組織強化、会員増強、支部づくりのさまざまな事例を学び、仲間を増やす組織力をつける。という内容で中山英敬中同協幹事長が

座長を務められてスタートしました。残念な事に、当初一緒に報告を予定していた原田さんが参加できなくなったために急遽、佐世保支部の大躍進は野田委員長の独り舞台となり大観衆の前にも物おじせず堂々と報告されました。その後の青年部の中野さんの話も負けず劣らず若さとやる気の溢れる報告でしたので是非、長崎でも話していただきたいと思い名刺交換しました。

更に問題提起として加藤さんから話していただき2時間のグループ討論を行い北海道の守さんにまとめていただき終了しました。

(文責 佐世保支部 松尾 慶一)

長崎浦上支部 例会報告

日 時	8月21日(火) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ	売上を伸ばす人材育成とは ～社員をやる気にさせる方法とは?成功事例に学ぶ～
報 告 者	(一財)輝麗塾 代表理事 中橋 佐知子 氏



中橋さんは起業を目指している方のコンサルティングをはじめ、企業や学校等における人材育成、企業研修、ラジオのDJなど幅広い分野でご活躍されています。

またご自身の経験として、お父様がアルミサッシの会社を営んでおられたという事でした。しかし急に他界され、借金があることがわかったそうです。事業に携わっていなかった中橋さんは事業を存続するべきかどうか悩まれたそうです。この時に初めて経営者の悩みや苦勞を知り、中小企業の経営者は悩みを誰にも打ち明けられない孤独と戦っているということに気づかれたそうです。幸い事業のほうは親族に引き継いでもらうことになったそうですが、ご自身は「何か中小企業の経営者の力になることはできないか」という想いの基、今日に至っておられるという事でした。



そして、ご報告の途中からご自身のセミナーなどでも行っている「褒めワーク」を例会に参加されていた方全員で実践し、大いに盛り上がりました。報告後のグループディスカッションにおいても、いつもと手法が違う報告だったので各テーブル様々な意見が飛び交い、質問内容も同じものがないほど多岐にわたっており、2時間30分の例会時間ではとても収めることができない充実した例会となりました。例会後の懇親会也大いに盛り上がり、参加者全員いろいろな気づきがあった一方、大変楽しむことができた例会となりました。

(文責 吉川 裕也)

長崎出島支部 例会報告

日 時	8月22日(水) 18:00～20:30
会 場	サンブリエール
テ ー マ	生涯健康に過ごす為に
報 告 者	Kyo Freestyle Workout 中川 恭兵 会員

中川さんは、パーソナルトレーナーとして運動と健康に関する指導をマンツーマンでされており、テレビやCMでお馴染みのライザップにも、お勤めの経験がある方です。

また格闘家としての経験もあり、2006年空手道九州大会3位、長崎県無差別級優勝。その後、キックボクサーとしてプロデビューし、タイに単身で武者修



行に行かれています。今月の例会は、経営者にとって最も大切な健康というテーマについて報告していただきました。

長崎県は、肥満率で男性が1位。女性は2位と肥満率が非常に高い県とのことです。理由は食生活と運動



などの生活習慣が関わっているのではないかとのこと。肥満を解消するには、まず筋肉を鍛える事が重要であると語られます。筋肉の役割は①体を動かす ②体を守る ③熱を出す ④血の巡りを良くする。しかし筋肉量は20歳をピークに年1%ずつ落ちていきます。筋肉は脂肪を燃やす最大の器官であるので、筋肉量の低下は代謝を下げ肥満に繋がることになります。スクワットなど筋肉量を増やすことが重要であるとのこと。また筋トレをすることで、やる気を促進するホルモンが分泌され、よりアグレッシブに働くことが出来るとも言われているそうです。

肥満を解消するもう一つは食事です。食事7：運動3の割合で、食事が重要であると考えられています。



タンパク質・炭水化物・糖質をバランス良く摂取する事が重要で、日本人は特に、筋肉や骨の材料になるためのたんぱく質の摂取が低いと言われています。中川さんは、同支部で、うどんのとも也を経営されている伊折さんと「マッチョうどん」という新メニューを共同開発しました。タンパク質が多く含まれている鳥の胸肉を多くトッピングしたメニューです。食事に関する商品も手掛けていきたいとのことでした。

最後は、スクワットの正しいフォームを説明していただき、会場の参加者全員でスクワット10回して報告の締めとなりました。

(文責 加瀬 和利)

大村支部 例会報告

日 時	8月18日(土) 19:00～21:30
会 場	おおむら夢ファーム シュシュ
内 容	1年でもっとも楽しい家族交流納涼例会



毎年恒例の納涼交流例会。今例会の主役はズバリ！参加した全会員とその家族です。

日頃から毎月の例会や委員会活動等を理解して、支えてくれる家族への感謝の気持ち、労いを込めた今例会。会員、家族が笑顔で楽しい時間を過ごせるよう大村支部運営部精鋭部隊？が工夫を凝らし、企画した、一年で一番楽しい家族参加型の納涼交流例会が今年も開催されました。



谷アトバイザーの迷司会（失礼しました！）名司会の開会宣言後、野添さんのスローガン唱和、益田支部長の挨拶に続き、YEGのキャラバンによる大村商工会議所設立40周年記念事業市民参加型ディスカッション！大村市民のワクワクするような発想力で大村を創造していく「輝け！おおむら激論四季」の紹介がありました。

その後、山口さんの乾杯の御発声を皮切りに祝宴のスタートです！

例会会場である山口さんのお店シュシュは美味しい料理を食べながら大村の町が一望でき、大村湾に映る夕日が綺麗で日が沈むと夜景に感動します。

美味しい食事を頂きお腹が落ち着いた後、いよいよアトラクションの開始！

トップバッターは野添さん提供の大玉スイカ！大玉ス



イカに入刀したのは県下一斉仲間づくりの日で8名会員増を成し遂げた立役者！仲間づくり委員会の宮崎委員長、野島副委員長のコンビです。本人は準備不足で申し訳ないと言っていました。8名会員増は立派です！

次は恒例の豆つかみゲーム！子供チームVS大人チームではお酒に酔ってたのか？大人は惨敗（笑）！奥様方には嬉しい野菜詰め放題ゲームも今年の猛暑に負けないくらいの熱いバトルが繰り広げられ、去年に続き中山さん！他の奥様方を寄せ付けないぶっちぎり

の勝利！強すぎます！

他に色々なゲームでも盛り上がりあつという間に時間が経ち、家族の皆様方も喜んでいる姿が見られました。

会員家族の皆様と交流が持てて素晴らしい例会となりました。

今回は運営部の皆様の御陰で楽しい時間を過ごすことが出来ました、有難うございました。

（文責 比良 哲也）

諫早支部 例会報告

日 時	8月22日(水) 18:30～21:00
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	共同求人委員会概論 ～人材不足の解決は、まず内的要因の解決から～
報 告 者	ブライアント(株) 代表取締役社長 橋口 久 会員（佐世保支部）



今回はいつもの例会とは違い「共同求人概論」という難しいテーマでしたが、最初にびっくりしたのはホワイトボード4枚に今日のポイントを丁寧に書かれてあり、橋口さんの熱意と意気込みを感じました。

2018年人材不足で倒産する会社は100件を超えるのは確実と言われています。特にサービス業、建設業、運輸業は深刻な求人状況だそうです。人材不足が原因で倒産？中小企業に就職する若者はますます少



なくなり大手企業に行ってしまう。どうして中小企業に若者は来てくれないのか？その原因は「外的要因と内的要因がある」と橋口さんは話されます。

中小企業に不安がある。会社で夢を持ってない。ビジョンがないなどいろんな内的要因が考えられます。内的要因を解決して選ばれる企業になる為には、まず「現在の社員に選ばれる会社にならなくてはならない」と話があり、参加者全員納得していました。同友会では経営理念、経営計画の大切さや作成セミナーを行っています。同友会活動に積極的に参加して勉強することで、選ばれる企業に繋がっていくのだと学びました。

同友会が他の経営者団体と違うところは、例会や会合だけの集まりではなく、各委員会が連動して、語り合う三位一体の団体であること、そして実際に経営に携わっている延べ15万人のトップの経営者が実践を通して蓄積した叡智を学び成長していく団体であると

話がありました。

橋口さんの今後の目標は2020年に合同企業説明会を行うことだそうです。そして選ばれる企業を増やすためにも会員増強は絶対必要だと話されました。

今回橋口さんの報告を聞いて、今後は同友会活動に積極的に参加していきたいと思いました。

(文責 菅 隆信)

島原支部 例会報告

日 時	8月24日(金) 19:00～21:15
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	サンタからのプレゼント ～同友会の魅力を知って、いい経営者になろう!～
報 告 者	(資)南陽商会 専務 三田 茂樹 会員 (有)シキシマ 代表取締役 敷島 広太 会員 同友会事務局 田口 友廣 局員



今回は、同友会の創立の歴史や同友会に入会した経緯、また同友会に入会していなかったらどうなっていたのか等の話と、経営指針の大切さなど、再度同友会の必要性や学びの大切さなどを振り返る機会を作る例会でした。まず田口さんから同友会の歴史についてお話していただきました。先輩方が大変苦勞して創立された会だと認識する事ができました。島原支部が創立されて9年目で来年は10年目になります。島原支部は若い経営者が多い支部で、これからの活動に期待されていました。

次に三田さんから、同友会に入会した経緯や「もし同友会に入会していなかったら」など大変貴重なお話をしていただきました。そして最後に同友会は必要



か?の問いには「会社の器を大きくするためには、自分が大きくなければならない」それを学ぶ場所が同友会ですとお答えされました。胸に響くものがあり改めて同友会の必要性を認識させられました。三田さんの座右の銘は「我以外皆師なり」との事で、常に学ぶ心をもって出会った人に向き合う姿勢を感じました。

次に敷島さんから経営指針の必要性についてお話していただきました。会社の方向性と社員の方向性を合わせるためには必ず必要な物になります。経営指針を作成する事により、色々な気づきや学びを得ることができます。必ず作成してくださいとの報告をいただきました、今回島原支部でも「経営指針実践セミナー」も開催予定です。多くの会員に参加していただきたいと思いました。今回の例会では、沢山のゲストにも参加していただいており同友会の事を知っていただきグループディスカッションではゲスト専用のテーマで「どんな会だったら入会したいと思いますか?」について沢山の貴重な意見が出ていました。その意見をもとにこれからも島原支部の必要性を考えていきたいと思いました。

(文責 佐原 俊樹)

佐世保支部 例会報告

日 時	8月10日(金) 17:30～21:40
会 場	九十九島ベイサイドホテル&リゾートFLAGS
テ ー マ	社会福祉法人の挑戦！ ～同友会での学びの実践～
報 告 者	社会福祉法人宮共生会 理事長 原田 良太 会員



8月は毎年恒例の「同友会を知る会」として開催しました。佐世保支部と他支部会員とゲストと共に同友の輪を広げるための例会です。原田さんは原田家の次男として生まれ、高校中退後、和食板前の道を歩まれました。現在は、社会福祉法人として同友会での学びを活

かし、様々な分野への挑戦をされています。

社会福祉法人宮共生会は原田さんの父が立上げを行い、原田さんを事務員として家族経営で2001年8月認可を受け、翌年通所授産施設としてわらびの里を設立します。この時、父から申請書類等すべてを任せていただいたそうです。無事申請が終わり8名からスタートが出来ました。原田さんを含め8名の職員は福祉経験者がおらず、福祉の知識向上に取り組み、知識を深めていきました。

ここまで頑張った理由として、2つの事があると原田さんは報告されました。1つは自分を信用して父は全てを任せてくれた事への思いからの責任感。2つ目は学歴が無く、父の息子だからと思われたくないとの思い、この2つがあったから頑張れたそうです。

また、福祉の仕事をする原動力として、1つのエピソードを話されました。開所当時からおられる軽度の知的障がいを持つAさんのエピソードでした。Aさんは施設での健康診断にて糖尿病が発覚し、保護者と話し合い、Aさんの生活ベースの確立のため、保護者と離れ生活保護を受け、その後入院し糖尿病の治療を行いました。その時の保護者との話し合い



から、生活保護受給のための申請書づくりなどを原田さんが行ったそうです。Aさんは、今は落ち着いて仕事もしているそうです。このようなエピソードがいくつもあり、その場面、場面で感謝される。その感謝の重みが違う、人生を支える仕事だと感じられ、障害のある方とのかかわりが自分の原動力となると報告されていました。

同友会との出会いは、2005年障害者自立支援法ができ、報酬削減などがありそのために、人件費を削除しないといけないなど問題が発生しました。原田さんとしては職員は解雇しないという思いがあり、そのために全体で経営していく体制・組織改革・事業展開・組織力を上げるなど工夫をしていきました。原田さんはその当時は、正しいかどうかかわからない、その迷いを悟られたくないなど苦悩したそうです。

その苦悩しているときに同友会と出会い、例会に向き合う姿勢、本気で勉強している姿勢にすごいと思い入会したそうです。

入会し例会はもちろん、「人を活かす経営」「経営指針作成の手引き」などの書籍を読むなど学びを行い、その中で正しいかどうかかわからないその迷いが晴れ、自分の行っている事に確信を得られたそうです。

私はこの報告を聞き、障がい者施設の現状や同友会の良さを改めて学びました。最後に「障がい者雇用は一流の企業になるための登竜門」と言う言葉がありました。この言葉は私の胸にささる言葉で、私も一流の企業になるために、障がい者雇用が出来るよう頑張っていきたいと思います。

(文責 府川 正樹)

北松浦支部 例会報告

日 時	8月25日(土) 18:30～21:00
会 場	サンパーク吉井
内 容	懇親例会

8月の例会は、懇親例会で佐世保支部会員の参加も

あり、盛大に開催されました。

井手前支部長の乾杯の音頭をかわきりに宴は始まりました。佐世保支部とは隣接している支部ですが、会員個々のつながり交流があっても支部としての交流は少ないのですが非常に盛況でした。

また、今年は懇親例会開催前にゴルフコンペも開催され、懇親例会中に行われた表彰式では、進行役の津



崎支部長の名司会もあり大変盛り上がり、ゴルフの成績が良く賞品を手にして大喜びの人、ゴルフの成績が今一つで悔しがっている人、会場は終始笑い声が絶えることなく、宴は爆笑の連続で参加者全員大興奮でした。

佐世保支部と北松浦支部の会員同士の交流を深めつつ、仕事のアドバイスを受れたり、情報交換も積極的になされていました。

特に、今年は佐世保支部で10月に経営フォーラムが開催されるためキャラバン隊の皆様から経営フォーラムのご案内をいただきました。佐世保支部の皆様、経営フォーラム当日はぜひ参加いたしますのでよろしくお願いします。

こうして楽しい時間はあっという間に過ぎ、佐世保



支部と北松浦支部のより一層の親交を深められたことを会員一同確信しながら、池野全研実行委員の締めめの挨拶で懇親例会を終えることができました。

懇親例会を無事大盛況に開催できたのも、例会を毎回計画していただいている例会委員長の松瀬委員長のご尽力があつてのことと思っております。松瀬委員長、本当にご苦勞様でした。また、ご参加いただいた佐世保支部会員の皆様も本当にありがとうございました。経営フォーラムの際はよろしく願いいたします。

(文責 吉田 大)

五島支部 例会報告

日 時	8月17日(金) 17:30～18:50
会 場	ワイワイタウン 牛豚馬鶏
内 容	納涼例会



五島支部8月例会は恒例の納涼例会でした。

今年は食事の前に「軽く運動でも」でしょうか？ボーリングの開催となりました。

辻支部長挨拶の後、いざスタート。皆様「昔取った杵柄」でしょうか？年齢を感じさせないしなやかな

フォーム、スピード、コントロール…若手の方が負けているのではと思わせる快調なスタート。スコアに合わせて、発言も軽やか「昔は180出していた」「いやいや、俺なんか200出していた」…さあ、いざ2ゲーム目。年には勝てないのか、足腰ヨレヨレ、最初の勢いはどこそこといった悲惨たる状況でした。しかし、参加者皆様の爽快な笑顔、笑い声。佐世保支部の皆様飛び入り参加も加わり（片桐さん凄かったです）、盛会のまま懇親会へ。

懇親会はさらに参加者も増え、フォーラムキャラバンによりさらなる盛り上がりが見られました。参加に今一歩踏み出せない会員の参加決定も多くあり、充実した懇親会でした。

五島支部会員の参加が若干少ない点が寂しかったですが、佐世保支部の皆様からまたまたパワーをいただいたように感じます。支部内の活動にとどまらず、フォーラムや全研といった活動に積極的に参加していく会員を少しでも増やしていくことが、五島支部のさらなる活性化に繋がる思いがしました。

佐世保支部の皆様ありがとうございました。

(文責 谷川 喜一)

青年経営者会 例会報告

日 時	8月26日(日) 11:30～16:00
会 場	NAGASAKI HOUSE ぶらぶら
内 容	サマーイベント



青年経営者会8月例会は、会員の家族の皆様との交流を深める目的でサマーイベントを毎年行っております。

ご家族の皆様へ青年経営者会とはどういうものなのかというのを知ってもらい交流親睦の輪を広げました。

バーベキューでは、なかなか会うことの無い奥さま同士だったり、子供同士だったり楽しく親睦交流が出来て盛り上がる事が出来ました。

海遊びでは、台風の後ということもあり波がありま



したが、川を利用して子供から大人までサップを体験、水に落ちながらもしっかりとサップの上に立って自由自在に水の上を動き回っていました。

さらには、波のある海に挑戦する人もいましたが、結局は立てずに海の中に落ちてばかりで最終的には川に戻ってめいっぱい楽しんでいました。

また魚釣りをする家族もいて、フグを釣ったりしていたようです。

今年の青年経営者会サマーイベントも家族同士で親睦交流することが出来ました。

NAGASAKI HOUSE ぶらぶらのスタッフの皆様、今回の準備をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

(文責 飛田 精一)

中同協 第50回 定時総会 in 宮城 参加報告

開催日：7月5・6日(木・金) 会場：江陽グランドホテル

第5分科会

同友会らしいインターンシップとは！？

～山形大学と連携した取り組みで社員が輝く～

(株)サニックス 代表取締役社長
山形同友会理事・共同求人委員会委員長

佐藤 啓 氏

山形大学学術研究院(学士課程基盤教育機構)
小白川キャンパスキャリアサポートセンター准教授

松坂 暢浩 氏

共同求人委員長 橋口 久

山形同友会と山形大学ががっちりタッグを組んだインターンシップ制度は、単に就活・就職へと繋がる導線にある制度ではありませんでした。大学1年生の低学年を対象とすることで、学生と企業をマッチングせず、医学部の学生が自動車整備会社でインターンするようなランダムマッチングを基本としていました。インターン期間は3日間です。

山形大学がインターンシップ先を山形同友会の会員

企業と限定した理由を、松坂准教授は、「経営指針の成文化を啓蒙し、人材教育(共育ち)、そして新卒採用に関心が高い(共同求人運動)ところが、他の経営者団体と大きく違ったから」と報告されました。いわゆる「三位一体の経営の実践」が、インターンとして、また就職先として学生を送り出す側から大きく評価されたと言えるでしょう。

平成26年は学生数20名、企業数13社でしたが、昨年度は学生数43名、企業数25社へと拡大。学生数、企業数共に、4年で約2倍となりました。成功の要因は、大学と山形同友会のコンセプトがしっかりしていたことにあります。学生(大学)側のメリットは、1年生での就労体験を通して、キャリア意識を醸成させ、これから4年間の学習意欲を高めることに繋がりました。その結果、3年生からの就職活動の前から、働くこととは何かを考え始める良いきっかけとなっています。一方、企業側は、社歴が浅い社員でも、受け

入れた学生を育てることで、社員が自社と自分自身を内省し、共育ちできる新しい環境、そして組織活性化に繋がりました。また、毎年受け入れることで、それまで乏しかった採用力や人材育成力が強化されていき、その後定期的な新卒採用ができる企業が増えてきたとのこと。全国の同友会では、「新卒を採用すると会社が変わる」とよく言われますが、山形同友会と山形大学とのインターンシップ制度は、新卒を採用する

までの下準備としては大いにTTPできるものだと感じました。

長崎同友会では、今年度から共同求人委員会が立ち上がり、県内の大学ともインターンシップ制度に関する会合を重ねています。今後は、山形同友会のTTPも含めながら、長崎同友会らしいインターンシップ制度を構築していきたいと思います。

What is 共同求人？

共同求人委員長 橋口 久

共同求人委員会連載コラム 第6回

同友会「三位一体の経営」 中同協 4 委員会「人を生かす経営推進協議会」とは？

「三位一体の経営」とは、人を生かす経営を軸とした「経営指針」「共同求人」「共育」の実践です。これは委員会活動に深く関係します。「経営労働委員会」主催の勉強会で学びながら経営指針を成文化し、「共育委員会」の新入社員研修や経営者と経営幹部の共育研修を通して共育ちを実践し、自社の社員に選ばれる企業づくりを行うことで、「共同求人委員会」が取り組む共同求人において、新卒者をはじめ、多様な人材を採用し、地域で永続的な経営を目指すものです。長崎県では、今期初めて「共同求人委員会」が設立されたことにより、ようやく同友会全体で「三位一体の経営」を実践

できる環境が整いました。

「人を生かす経営推進協議会」とは、中同協において、「経営労働委員会」「共育委員会」「共同求人委員会」「障害者問題委員会」が横断的な会議を重ね、全会員に「人を生かす経営」の実践を啓蒙していく運動です。全国では、中同協だけではなく、都道府県や支部レベルでも実践されています。繰り返しにはなりますが、今期、長崎県でも共同求人委員会が設立されたことにより、「長崎同友会・人を生かす経営 4 委員会会議」が開催されるようになり、障害者問題委員会を包括するダイバーシティ委員会を加えた 4 委員会の県の委員長が横断的な会議を毎月重ねています。その会議の最初の産物として登場したのが、長崎同友会の各種勉強会を体系的にまとめた「長崎同友会経営者塾」のチラシです。会議を開催して3ヶ月で作り上げ、8月6日の県内増強デーに間に合わせました。佐世保支部では、毎月、支部レベルで 4 委員会会議を開催しています。他支部でもぜひ横断的な委員会活動をお願いします。

会員活躍

長崎新聞 8月23日
五島支部 田本 喜美代 会員

新上五島町有川郷の五島灘酒造(田本喜美代社長)は定番商品「芋焼酎「教会の島」のミニボトル(300ミリ、880円)を8月上旬から町内限定で販売している。企画した田本佳史専務(37)は「お土産品として、旅行者に島の思い出の一つにしてもらえれば」と話す。「教会の島」は町内産のサツマイモ「紅さつま」が原料で、すっきりとした味わいが特長。9年ほど前から720ミリ入り販売していたが、町内

消費が中心だったため、手軽に持ち帰ることができるよう小さなサイズを考案した。ミニボトルは五島の海をモチーフにした青色。キャップをろうで固定し、西欧文化が渡来した時代の雰囲気表現した。町観光物産協会の土産品コーナーで販売しており、今後は取り扱い店舗を拡大していく。問い合わせは同社(電話0954・42・0002)。(山本陽二)

芋焼酎「教会の島」 ミニボトルいかが 新上五島・五島灘酒造



「教会の島」のミニボトルを企画した田本専務
新上五島町・五島灘酒造

事務局企業訪問

今回は大村支部の(株)琴花園 大塚真一さんを訪問しました。



【(株) 琴花園】

琴花園は、造園事業、草花等の生産、フラワーショップやリースといったお花や緑全般に関する事業をはじめ、道路改良工事等の土木事業や不動産事業も展開しています。創業は1962年。現在相談役を務める大塚さんのお父様が造園、園芸全般を取り扱う会社として起こされました。

当時は、子供が父親の会社を継ぐことが当たり前だったと語る大塚さんは、東京農業大学に進学後、東京都内の造園設計の会社に就職し、そこで8年間働いた後、大村に戻ってきて1994年に琴花園に入社しました。入社後はそれまでの知識と経験を生かして設計企画室を立ち上げ、設計に携わっていました。そして、お父様から叔父様へと社長が代わり、2010年に大塚さんが代表取締役役に就任しました。

【同友会に入会して】

同友会への入会は大村に戻った翌年の1995年4月。「経営を学ぶなら同友会が良い」と同友会会員だった親戚から勧められて入会したそうです。当時29歳で、そこまで積極的には同友会活動に参加していなかった大塚さんでしたが、入会して7、8年経って初めて大村支部の例会委員長に就任しました。役員になってからは、同友会活動に積極的に参加するようになり、その後、副支部長、支部長、経営フォーラム実行委員長といった要職を歴任してきました。

また、経営計画書をつくるために同友会会員のもとへ頻繁に相談に行ったり、社員の労務に関することは労務士の会員に、建設に関することは建設業の会員に相談したりと会社経営に同友会が深く関わっています。経営計画書は、毎年、各事業部門から提出してもらい、社員と一緒に目標値を設定し、一丸となって事業発展に取り組んでいます。



【地域に根差した会社を目指して】

「社員の子供が親父の会社に入りたいという会社にしていかないといけない」とは昨年の鹿児島全研で大塚さんが学んだ言葉です。大塚さんは、そのような会社づくりをすすめていくためには、やはり地域の皆さんにとって必要な会社と思ってもらうことが必要だと考えています。

毎月会社をあげて清掃活動に取り組んだり、最近では地元の幼稚園に出向き、園児たちが種を植えて成長して花が咲くという体験をすることで命の大切さを学ぶ「花育」の活動を行ったりするなど、地域の子もたちに会社を知ってもらうことに力を入れています。

【訪問を通じて】

今回、本社を訪問させていただき、隣接する観葉植物のハウスや全国発送の商品を梱包する作業場、2016年1月にオープンしたガーデン・エクステリアのショールームも案内いただきました。

また、取材のなかで「社員が喜ぶことが経営者としての喜び」と笑顔で話していた大塚さん。経営理念にあるように様々なグリーンサービスで地域やお客様に幸せを届けて、これからも社員と一緒にますます発展していけるのではないかと感じました。

今回はお忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

<経営理念>

～グリーンサービス産業を通じて地域の人々に貢献する～

わが社はグリーンサービス産業を通じて、地域社会の人々の健康と幸福を願い生活文化の向上に貢献するとともに、わが社のすべての人々の豊かな生活を創造しなければならない。そのためには、何をしたらよいか、どうしたらよいかを常に考え、英知を養い、自ら実践の努力をし、人々と協調協同の精神をもって、経済的に効果的に意欲的に、経営に参画し運営しなければならない。その結果、琴花園で働くすべての人々は生活が益々豊かになり会社と共に永遠に繁栄する。

<会社概要>

(株) 琴花園

住所：〒856-0028

大村市坂口町 500-5

TEL：0957-53-8121 FAX：0957-52-4823

(文責 森川 健吾)

新入会員の皆さんです < 8月入会 >

(敬称略)

< 入 会 >

支 部 名	諫早支部	
氏 名	たなか としひで 田中 敏彦	
企 業 名	ノビヤ	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒854-0016 諫早市高城町7-17 イズムビル2階B	
T E L	0957-46-3296	
F A X		
業 種	カフェ & バー	
企 業 PR	音楽・アートなどを通じて人と人がつながり合うお店です。県内外、プロアマのライブや各ワークショップなども開催しています。	
スポンサー	山口 大輔	

支 部 名	諫早支部	
氏 名	わたなべ のぶゆき 渡邊 信幸	
企 業 名	諫早ダイニング倶楽部	
役 職 名	オーナー	
企 業 住 所	〒854-0061 諫早市宇都町240-117	
T E L	0957-46-3909	
F A X		
業 種	飲食業	
企 業 PR	諫早市宇都町に平成30年5月22日に諫早ダイニング倶楽部をオープン致しました。ながさき和牛他、地元の食材を使い諫早の台所!!と言ってもらえるよう、郷土料理などの研究、そして皆様から「おいしい!!!」を言ってもらえるような店にしていきたいと思っております。	
スポンサー	寺尾 昌晃	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	い で じゅんいち 井手 純一	
企 業 名	(株)井手建設	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒857-0115 佐世保市柚木元町2268	
T E L	0956-46-1727	
F A X	0956-46-1727	
業 種	建設業	
企 業 PR	住宅新築からリフォーム工事まで住宅のご相談はおまかせ下さい。	
スポンサー	綿川 淳子	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	くさの たくや 草野 卓也	
企 業 名	(株)東藤ロータスグループ	
役 職 名	常務理事	
企 業 住 所	〒857-0805 佐世保市光月町8-17	
T E L	0956-24-5555	
F A X	0956-24-5556	
業 種	ホテル・飲食店	
企 業 PR	ロータスグループでは、ホテル2店舗(ホテルロータスハウス、ホテルビブロス)、飲食店2店舗(ロータスカフェ・ハングリーズ、博多あじ処はす屋)を運営しております。	
スポンサー	橘高 裕季	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	たけうち かつや 竹内 勝也	
企 業 名	竹内社会保険労務士事務所	
役 職 名	社会保険労務士(長崎県労士会)	
企 業 住 所	〒857-1165 佐世保市大和町1073-6	
T E L	0956-31-5009	
F A X	0956-31-5025	
業 種	社会保険労務士	
企 業 PR	1958年設立の竹内社会保険労務士事務所は4人の社会保険労務士と業務に精通したベテランスタッフ4名が在籍しており、お客様の立場にたって、安心！正確！懇切丁寧に対応いたします。	
スポンサー	綿川 淳子	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	で ぐ ち ひろゆき 出口 寛幸	
企 業 名	ジブラルタ生命保険(株)	
役 職 名	ライフプランコンサルタント	
企 業 住 所		
T E L	080-3909-1842	
F A X		
業 種	生命保険	
企 業 PR	保険に愛という本質を。あなたとあなたの会社にピッタリの保険を設計します。フルオーダーメイドで質の高いサービスを提供します。	
スポンサー	関 ひろみ	

V・ファーレン長崎



応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員(長崎出島支部)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割 引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

9月理事会 報告

9月6日(木) つくば倶楽部 出席27名 欠席7名

開会あいさつ (抜粋)－金井代表理事

先日の組織強化・会員増強全国交流会では佐世保支部の野田さんから素晴らしい報告がありました。懇親会後、鋤柄さんからもお褒めの言葉をいただきました。一生懸命やってくださる会員皆様のおかげです。ありがとうございます。本日もよろしくお願いいたします。

仲間づくりについて

- 1)入会・復会・退会・交代・企業変更の承認
－22名の入会、2名の復会、4名の交代、1名の変更、1名の退会を承認
- 2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について
金井代表理事総括(抜粋)
700名を突破することができました。仲間づくりの日では特に佐世保支部と大村支部が頑張りました。また次回長崎同友会設立記念日11月14日が仲間づくりの日ですので、佐世保支部、大村支部に追隨して他支部も800名が見えるところまで全研を見据えて、頑張っていきましょう。
- ※表彰 8月6日 第1回県下一斉仲間づくりの日
(対象期間 4月1日～8月6日)
- 【最優秀支部賞】 佐世保支部19名
(2位 大村支部11名 3位 諫早支部8名)
- 【スポンサー賞】 1位 4.5名 諫早支部 仲間づくり委員長 山口大輔会員
(お一人を宮崎信吾さんとスポンサーされたので0.5あり)
2位 4名 大村支部 仲間づくり委員長 宮崎洋輔会員
佐世保支部 山口富士雄会員

協議・承認事項

- 1)政策委員会からの「特別活動費」申請について－時政策委員長
景況調査(長大生による企業訪問ヒアリング)費用の申請を承認
- 2)経営フォーラムについて(10月26日(金))－村上実行委員長
(前回理事会までの承認事項)
・開催趣旨 ・メインテーマ「変化と挑戦こそが、中小企業の成長を後押しする原動力!!」
・サブテーマ「日本の西から中小企業の元気を全国へ!!」
・開催場所(九十九島ホテル&リゾート フラッグス)
・記念講演講師(徳武産業(株) 十河孝男(そごう たかお)氏) (香川同友会)
・スケジュール ・参加費－6,000円(一律)
・目標－会員・ゲスト320名、来賓20名 ・予算案
・今後の詳細については実行委員会一任とし、都度理事会で報告
・分科会報告者
第1(人 財) 阿萬 英一朗会員(株)アーム(宮崎同友会)
第2(挑 戦) 綿川 淳子会員 (株)佐世保福祉(佐世保支部)
第3(変 化) 吉澤 健会員 (株)ヤマハマリン西九州(長崎浦上支部)
第4(地方創生) 時 忠之会員 (株)大幸企画(大村支部)
見学科分会 宮共生会(定員28名 ・特別なタイムスケジュール(10時発))
(今回協議事項)
・「分科会報告」の内容変更の提案－承認
全体会内、座長からの分科会報告のあり方を変更したい。
→登壇は座長ではなく、報告者のみ。報告者を紹介後一言ずついただき、最後にねぎらいの拍手
- ・五島支部より－記念講演のライブ配信申請について
－今回、試験的にを行い、どの様なことが起こるかの確認、また詳細を今後詰めていくことで承認
- 3)来期に向けての取り組み開始－役員選考委員の指名・承認についてと今後の流れの確認－山田事務局長
→役員選考委員を指名、承認

報告・連絡事項

- 1)8月 県本部・支部・委員会等の活動状況について
＜委員会等＞

例会	8月22日(水)諫早支部例会の前後に第4回例会委員会を開催。 第1部(例会前)…各支部例会状況の報告、諫早支部の現状報告と例会の狙い等の説明、役員研修会シミュレーションについて。その後、諫早支部例会へ参加。 第2部(例会後)…その日の諫早支部例会についての意見交換。
経営労働	活動計画 1)経営者塾の開講 ・共同求人・共有・ダイバーシティ委員長と協議をし、パンフレットを作成⇒8/6済 ・8/20・29経営者塾 就業規則見直し勉強会(大村)の開催 7名参加 2)経営指針実践セミナー2018の開催 ・8/11 No2開講 15名参加/20名申込 ・島原支部 新規開講の依頼あり、9月より開始 ・北松支部より 会員獲得も兼ねて、説明会開催依頼あり、9月に実施

共有	9月3日大村で開催する経営者と経営幹部の共有研修の前に共有委員会でミーティング予定。9月3日、10月1日、11月12日と行いますので、スタッフの受講をお願いいたします。
政策	■8/7 長崎大学山口ゼミ生との第3回意見交換会@同友会事務局 (内容)長崎大学学生に協力を仰ぎ、地域の景気動向を知るための企業ヒアリング調査を開始するべく最終の打ち合わせを行った。質問内容や選定企業について確定し、既に8/24から調査スタートしている。今後9月下旬までの1か月間県内31企業を対象に調査を行い、そのまとめを景況調査レポートとして報告となる。 ■8/20 第5回ビジョン委員会@諫早市社会福祉会館 政策委員会(第5次ビジョン)策定に向け意見交換を行った。次回第6回委員会においてビジョン確定すべく委員会に持ち帰り、ビジョン案提出することが決定される。 ■その他 ・年間事業計画の進捗について 上期は景況調査について、新たな手法を用いた計画実施期間となっています。よって現時点では計画通りに進行していることをご報告します。
情報広報	8月23日(木)19時～ つくば倶楽部にて委員会を開催。 1. 広報誌 編集会議 【巻頭】 ・9月号→中同協組織強化全国交流会 ・10月号→第6回 人を生かす経営全国交流会(宮崎) ・11月号→支部報告 他候補→共有幹部研修 別冊→第25回経営フォーラム in SASEBO ・12月号→第46回青年経営者全国交流会(沖縄) 【その他の記事(候補)】 ・2018年度 役員研修会 ・佐世保支部(ビジュアルランチ) その他 ・11月号別冊分の第25回経営フォーラム in SASEBOの報告を情報広報委員会から経営フォーラム実行委員会へ依頼する 広報誌の電子化 ・8月号入稿及び校正が2週間の遅れ ・8月号は全会員に郵送にて配布(新リーフレット5部含む) ・例会の報告書の早期の提出の促しをお願い 2. edoyu利用 ・利用率は59%に推移している(前回も59%) ・自主返信率の向上→自主的な登録の呼び掛けを行う。 ・利用してない(未回答)会員に対して情報広報委員会、事務局にて個別対応を行う検討 ID、パスワードを忘れた会員に対し再度説明し登録の呼び掛けを行う。 ・会員が多い支部は利用率が低い傾向 3. その他・情報交換 第5次ビジョン草案について 5案中から3案を情報広報委員会の第5次ビジョンとして決定 ・edoyu登録者の全会員がedoyuを活用に活用している。 ・報道機関との関係が強化されている。 ・充実した広報誌が発行されている。 ※第4次ビジョンについては次回以降の委員会にて検証行う(12月10日までにビジョン委員会にアンケート提出) ・2018年度第1回中同協広報委員会IN香川の案内について
仲間づくり	8月6日県下一斉仲間づくりの日を開催。各支部事前準備から取り組みをしていただいた。 全体の反省点としては開催日のみの決定ではなく、開催日以前のスケジュールや当日の細かい流れ等、もっと具体的なマニュアルを作成する必要があると感じた。拠点の設置と訪問を併用することで、拠点での仲間づくり活動も可能ではないかと考えられる。次回委員会においてそういった点についても提案をしていきたい。
ビジョン	8月20日(月)第5回委員会を開催。 ・浦郷情報広報委員長、時政策委員長にご出席頂き、両委員会の第5次ビジョンについて協議。各委員会で1カ月間協議して頂き、来月のビジョン委員会にて完成予定。 ・5次ビジョン到達への「8つの柱」について、下記の3つの柱を確認。 ⑤「ダイヤモンドクラブが経験を活かして活動している(ダイヤモンドクラブ)」 ⑥「青年経営者会のメンバーが全支部に在籍して活発に活動している(青年経営者会)」 ⑧「行政、学校、他団体、地域に認められる同友会になっている(政策、ダイバーシティ、情報広報、共同求人)」 ・ビジョン進捗状況アンケートひな形文面を確認し、一部を修正。 第6回ビジョン委員会 9月25日(火)19時～ 諫早市社会福祉会館(理事会での補足)第4次ビジョンの検証、第5次ビジョンの作成のため、10月15日(月)、11月19日(月)のビジョン委員会(19時:諫早市社会福祉会館)に経営労働委員長、共有委員長、ダイバーシティ委員長、共同求人委員長の参加を依頼

ダイバーシティ	8月29日(水)委員会開催 参加11名 ・第11回例会 11月13日(火)サンプリエール 「私たち障がい者雇用をはじめました!!」 (報告者 野中会員(大村支部)、下釜会員(長崎出島支部)) ・全研分科会の報告者を委員会の中で再度検討し、中村こずえ会員、菅原委員長で一致しました。9月6日(木)全研実行委員会で報告し承認をいただきます。 ・10月2日(火)次回例会シミュレーション、委員会開催 ・3月 全研分科会の反省会、勉強会予定	を楽しみながら交流を図ることができました。9月は7月例会で大好評だった「模擬経営戦略会議」を行います。新たな試みをしっかりと行いながら、10月経営フォーラム、2月全研に向け100名の陣列を揃えていきたいと決意しております。あと40名、後半戦、皆様より一層のご協力をお願い致します。 (理事会での補足) 今後は北松浦支部、島原支部を訪問予定
共同求人	・8月22日 諫早支部にて、諫早支部 共有・共同求人委員会担当の例会を開催。 「共同求人委員会概論～人材不足の解決は、まず内的要因の解決から～」をテーマに、県共同求人委員長の橋口(報告)と、諫早支部共有・共同求人委員長の時会員(座長)が担当した。共同求人運動を知ってもらうだけではなく、「共同求人を知れば同友会がわかる」内容とし、最後の座長挨拶では、三位一体(ダイバーシティ経営を入れて四位一体)の経営を同友会運動を通して頑張ろうと決意表明をされた。 ・8月31日 つくば倶楽部にて、第4回共同求人委員会を開催。 (1) 経営者塾のチラシの宣伝は各支部共同求人委員が、各支部例会の委員会報告で担当 (2) 経営フォーラムの共同求人テーマとした第1分科会の座長は9名となり、県委員から5名決定、3名今後呼びかけ、残りを佐佐保支部共同求人委員会から選出することとなった。シミュレーションは9月後半に佐佐保で開催予定。日程は9月第1週に決定。シミュレーションには、グループ長、フォーラム実行委員が参加し、夜は懇親会を予定。 (3) 県全体に共同求人に関するアンケートを実施。アンケートの内容は、他県の取り組みをTTPすることとし、次回委員会までに、事務局と橋口がアンケートを実施している他県同友会に呼びかけて入手。	2) 役員研修会について(9月8日(土)) - 田口事務局主任 目標達成に向け、最後まで参加呼びかけの依頼あり 3) 例会について(更なる充実をめざして) - 本多例会委員長 ・例会内容についてのヒアリング ※その他 ・役員研修会に出席された方は支部に持ち帰って、支部への落とし込みをお願いします。 4) 第49回中小企業問題全国研究集会について - 松尾実行委員長 ・2019年2月21・22日(木・金) メイン会場 ホテルニュー長崎 ・長崎同友会で2分科会を担当(「ダイバーシティ」と「政策」) 報告者 ダイバーシティ 中村副代表理事・菅原ダイバーシティ委員長 政策 時政策委員長 5) 中同協 主要行事の参加状況 ※8月24日 組織強化・会員増強全国交流会 参加報告 - 参加者より 6) 活水大学との取り組みについて - 菅原ダイバーシティ委員長 ・まずはインターンシップをすすめていく ・今後4委員会として何ができるのか提携も含めて検討 7) 会費滞納者について - 3ヶ月なし ・2ヶ月1名(大村支部) 8) その他 ・宇土経営労働委員長と橋口共同求人委員長より「経営者塾」について説明あり ・浦郷情報広報委員長より、新リーフレットの活用依頼あり
青年経営者会	8/9に同友会事務局にて役員会を開催。今回から新たな試みとして事務局を拠点とし諫早と上五島をつなぎネット会議を取り入れました。将来的には携帯があればどこからでも参加できるようにしたいと思います。また8/10に行われた佐佐保支部例会には橋本顧問、分部幹事長を中心に参加し、8名の新規会員を獲得。これにより約60名の布陣となりました。8/26は毎年恒例のサマイベントを開催。茂木の「長崎ぶらぶら」へ会員さんとそのご家族で参加。BBQやSUP	※次回開催確認 10月4日(木) つくば倶楽部

会員動向

会 員 数 (9月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐佐保	北松浦	五島	合計
目標	150	130	125	100	100	200	55	45	(1000)
期首	113	105	87	79	66	160	43	31	684
現在	111	102	90	83	67	170	43	31	697

退会者 (敬称略)

会 員 名	会 社 名	支部名	入会年月
江 頭 知 裕	L' ECRIN (レクラン)	北 松 浦	2016年 6月

●企業住所等変更

辻村 栄蔵 会員 (長崎浦上支部) **関戸 洋二 会員** (佐佐保支部)
新役職: 代表取締役会長 新FAX番号: 0956-25-3350

辻村 崇 会員 (長崎出島支部) **古川 和樹 会員** (佐佐保支部)
新役職: 取締役社長 新役職: 専務

北島 康平 会員 (諫早支部)
新会社名: (株)多良見住宅
新役職: 取締役

10月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページやe.doyuからも閲覧・参加申込可能です。

(掲載がない支部は経営フォーラムを例会に充当)

●大村支部

日 時 10月12日(金) 18:30～21:15
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ — マ 人を活かす経営
～文化の時代の価値基準～
報 告 者 九州教具(株) 代表取締役社長
船橋 修一 氏

時代の変遷に合わせて、企業を変革していくことが求められている。文具販売を起源とする九州教具は、現在文房具などの事務消耗品の販売をしていない。ホテル事業をソリューション提供の題材としてとらえたり、川棚町を「日本一のICT田舎」にするなど、地域の要望をビジネスへつなげ、イノベーションを巻き起こしている。外国人や女性の登用で、社内の意識改革を進めている。「経済」の時代の成功を捨て、「文化」の時代での成功とは何か、新しい価値基準が求められていることを会員さんに認識してもらえるような報告をしていただきます。

●諫早支部

日 時 10月17日(水) 18:30～21:00
会 場 ロイヤルベルズ諫早
テ — マ 社会保険労務士ってなにやってるの
～あなたの会社は危険がいっぱい～
報 告 者 社会保険労務士事務所オフィスモリ
代表者 森 優伸 会員

H15 社会保険労務士資格取得、以前は池島炭坑の炭坑マンでした、資格取得後、社会保険事務所で年金相談を受け、その後独立。労基署やハローワーク、年金事務所へ提出する書類の作成、提出、企業からの様々な労務相談を受ける中、経営者の立場に寄り添い回答を心がけている。概要は労務士の仕事や、事例などご紹介。

第25回 経営フォーラム

in SASEBO

テーマ

変化と挑戦こそが、
中小企業の成長を後押しする原動力!!

2018年
10月26日(金)

時 間: 13:00~20:30(受付 12:00~)

会 場: 九十九島ベイサイド ホテル&リゾート フラッグス

参加費: 6,000円(懇親交流会費含む)

日本の西から
中小企業の元気を全国へ!!

中小企業経営者の集い
共に学び考え共に語り合おう!



タイムスケジュール

12:00	受 付
13:00~16:00	分 科 会
16:30~17:00	全 体 会
17:00~18:30	記 念 講 演
18:45~20:30	懇 親 交 流 会
20:30	閉 会

見学科分会タイムスケジュール

10:00	出発(9:50 フラッグス集合)
10:30~	坊主珈琲
11:30~	わらびの里/昼食(弁当代実費)
13:00~	ごちゃまぜ(報告)
14:00~	グループディスカッション
15:20~	ごちゃまぜ出発(バスの中で発表)
16:00	会場到着

長崎県中小企業家同友会
☎ 095-822-0680

※詳しい情報は下記ホームページへGO!!
<https://doyu-sasebo.jp/>

第25回経営フォーラム

検索

